

# 平成29年度全国高専フォーラム参加報告

鈴木 徹

## 1. はじめに

下記日程で開催された平成29年度全国高専フォーラムについて、第2日目～3日目について参加したので報告する

平成29年度全国高専フォーラム

日程：8月21日（月）～23日（水）

会場：アオーレ長岡、ホテルニューオータニ長岡、長岡技術科学大学キャンパス

大会公式 HP：

<http://www.kosenforum.kosen-k.go.jp/>

## 2. 参加セッション

公式サイトの日程表にある通り、大会は複数の会場で同時にセッションが併催されるプログラムとなっていたので、報告者は下記セッションに参加した。

### 第2日

**WS1** 高専の研究力向上と研究成果発信について

**OS1** 高専統一ネットワーク基盤導入とその活用における諸問題に関するナレッジ共有

**WS4** 高専の外部資金獲得（科研費以外）と産学連携について

**OS10** 産学連携活動における各種契約の実践的運用

### 第3日

**WS7** ICT を活用した教育の質向上と効率化を目指した教育事例と企業との連携教育事例

**WS8** 情報セキュリティ人材育成事業

**OS22** 高専ならではのICTを徹底活用した授業実践事例

## 3. 参加してみて

**WS**（ワークセッション）は本部肝いりのセッションであり、会場も大きく参加者数も多い活気溢れるものであった。登壇者数も多く、内容も聞き応えのあるものが多かった印象である。特に **WS1** においては機構本部の谷口理事長の熱い語り口が印象的であった。また同セッションにて本校が全国高専の中でも特に研究力向上に力を入れていて成果を出しつつあることについて吉木地域連携センター長他から発表があり、研究する高専を標榜していることについて全国に向けて宣言しておられた。

一方で **OS**（オーガナイズドセッション）に関しては、その分野の専門家達が集うセッションであるだけに、少なからず専門領域に寄っている内容であり、勉強になる内容のものもあれば、興味をそそられないものもあった。

また昨今の流行である **ICT** 活用教育についてはどのような実践がされているのか是非勉強したいと思い参加したのであるが、詰まるところ、世の中のクラウドサービスには便利なものが一杯あり、それをうまく使って教育の効率化をしていきましょう、という内容に終始したと言って良い。

報告者が思うに、そうであることは多くの高専で **ICT** 教育をしている人達は理解している。しかし、いざクラウドサービスを使おうと思ったとき、果たしてそれが本当に教育の効率化に結びつくのか？という疑問の声があることもまた事実であると思う。

なぜそのように思うのかと言うと、クラウドサービスは一旦使い始めると、システム側がどんどん機能を追加と改編をしていき、理解が追

いつかなくなるし、それに伴い折角作ったマニュアルも短期間で役に立たなくなることが多い。使い方をやっとマスターしたかと思うと、追加された機能、変えられてしまった手順・方法を教える側、教わる側がフォローしないと行けない。

おまけにクラウドに、多寡はあれども個人情報を預けざるを得ない場合、その保護はどうなのか？という問題に悩まされる。情報漏洩が起きて事案になり、責任問題になったらどうになってしまうのか？と考え出すと、なかなか手を出しにくいものなのではあるまいか。

報告者も以前は世の中にある便利なサービスをドンドン使って、学生も教職員もお互いWin/Winな教育をやれば良いのに、と思っていた側だったが、最近の情報漏洩事案等を鑑みると安易なクラウドサービスの活用という風潮には懸念を感じる点もあるのである。

大会全般としては良いイベントだと思うが、気になったのは参加者に若い教職員が少ない気がしたことである。数えた訳ではないから正しくないかも知れないが、ぱっと見の印象として若手参加者が少ないように感じたのだ。たぶん間違っていないと思う。本校からも若手が参加してないし、学校にいてもこのイベントはほとんど話題にならないように思う。折角、全国高専51校のエネルギーを感じられる好イベントなのに、中堅、年寄りのためのイベントになってしまっは勿体ない。若い人達のエネルギーを結集し、互いに刺激し合い切磋琢磨するようなイベントになって欲しいと思ったし、どうしてこのイベントが若者受けしないのだろうか？と大会プログラムを眺めながら帰りの列車で考えてしまったのであった。

